



Libra lion

スケジュールカレンダーつき

巻頭インタビュー
図書館 新館長

大羽 良氏





図書館に新しい風

Libraが光り輝くように

岡崎市立中央図書館 新館長

おおば

りょう

大羽 良氏

インタビュー

今年4月より、図書館館長が大羽良さんへと新しく変わった。大羽さんは市役所へ入って37年、様々な部署での仕事を経験され、図書館に関わるのは今回が初めてである。

かつて独身だった時「図書館は、一度は仕事で行ってみたい施設。変わったことをやってみたいという気持ちと、本がたくさんあるので、仕事に関しても色々勉強ができるかな」と思っていたそうだ。

そこから30年経ち、念願かなって図書館で働くようになったが、実際にはまだ仕事の方が忙しく、ゆっくりと図書に触れて勉強する時間はなかなかとれないようである。

「若かった頃と図書館のサービス内容が随分変わっていることに、まず驚きました。本を借りる所、というイメージだったのが、電子データやCD・DVDなど、貸す内容も豊富になっている。

住民の要望も多種多様になってきているということも、この短い期間の中でも、色んなものを見たり聞いたりする中で感じている。図書館というのは単純に図書だけを貸し出す所ではなくなった」

図書館で働くようになって、まだ1ヶ月弱。戸惑いも多いだろう。しかし今まであまり関わりがなかったからこそ、一から勉強すると共に、違う視点で図書館を捉え、新しい風を吹かせようと大羽さんは努力されている。

「初めて図書館という内示があった時、ビックリした反面、中心市街地活性化の中で、これを使って何かできないかなと、ふっと思った。基本的にはここができたのも、中心市街地活性化が目的で、その核としてのLibraであり、図書館。

計画段階の頃、始めは『何で図書館で活性化?』と思った。しかし、おかげさまで駐車場も満タンになっているくらい多くの方々に来ていただいている。

Libra全体が、市民の皆さんに気軽に来ていただける場所となることで、ひいてはこの地区の活性化につながる。Libraを中心に、周辺にも集客ができるようなことを、ひとつひとつ当たって勉強していかなければならないし、漠然と何かいいアイデアがないかなあ、というところ。

まだ図書館の何たるかも知らないけれど、市民の方にも協力してもらって、盛り上げていきたい。サポーターとなる市民の皆さんも増えてほしい。」

「実は、今年の観光カレンダーの8月号はLibraの屋上から撮った花火の写真なんですよ」と話す大羽さんは、つい先日まで観光課に居た。桜まつりや家康行列、花火まつりに携わり、それらの準備から執行までを担っていた。

特に花火まつりは事故につながる危険性も高いため、警察との連携が一番重要だそうで、これらのイベントを成功させるために、地元の協力を得たり、警察との協議・調整を主に行ってきた。

10数年前には国体事務局で2年間務めた。「国体はきつかったけど面白かった。60年に1回位だけ廻ってくる歴史的な仕事ができたと、バスケやアーチェリー、空手などいろんな競技団体の人と知り合えたのが良かった」

それらの経験からなのか、物腰の柔らかい彼の人柄のせいなのか、「大変であればあるほど、終わったときの達成感は一ひとしおで、とても感激する」という大羽さんは、関係する様々な人々とコミュニケーションをとりながら調整し、何かを実現させるために、いろんな所と話をまとめてくるのが得意である。

「静かに本を読みたい人には迷惑かもしれないが、8月の花火の時期は人が集まるという意味ではいいのかな、と。その時期に合わせて図書館でも何かできないかな、と考えている。

<観光>という言葉には<光を示す>という意味があり、光るものがあれば、何でも観光になる。実際、Libraは市外、県外からも見に来られる方が多い。金沢21世紀美術館などは、美術館であると同時に年間100万人が来場する観光地となっている。

Libraも、春は春、夏は夏、という季節ごとに市民の方が来てみようと思えることができればいいな、と。また、遠くからでも来ていただけるようなシカケを、そういった四季折々の行事と合わせて、何かキラッと光ることを図書館としてやっていきたいと思っている」

しかし図書館職員の方々は日々の仕事に忙殺されているというのが現実であり、日常業務から離れた新しいことをやろうという余裕は無い。また、公共施設ゆえの難しさもある。

新館長として個々にコミュニケーションをとっていく中で「そういった職員の

意識も変えていきたい」とも大羽さんはおっしゃっていた。

「たくさんの方がLibraに来たくなる、周辺地域の活性化にも繋がるような楽しいシカケを、と思っても、実際にはいろいろな制約があり、できる事、できない事がある。

たくさんの方々のアイデアの中から、ひとつずつ検証して、どうやったら実現可能か、市民の皆さんやNPO団体など関係する所とも協力しながら考えていきたい」

大羽さんが図書館に初めて携わるようになって感心したことのひとつに、ブックスタート事業がある。

「まだ文字の読めない乳児の頃から本に親しんでいってもらって、本を読む方が増えると図書館利用の増大にも繋がる。今は図書館にこういったサービスもあるんだ、と勉強になった。

前館長から、図書館は入館者数よりもどれだけ図書が貸し出されているかが大事、と聞いている。どう図書を活用していくか提案し、貸し出し利用者が増えるようにしていきたい」

その一方、「この1週間で思ったのは、結構図書が貸し出された先で紛失されたり汚損されたりという目にあっていて、意外だった。みんなが使うものなので、大事にして欲しいなあと思う」という残念な感想も。

こればかりは、どんなに図書館側が努力しても、市民一人ひとりが本を大切に思う気持ちを持たなければ意味がない。

本を借りる側と貸す側の両方が、お互いに、より良い図書館にしていこうと思うことが必要である。

大羽さんと、Libra総合館長である岸田さんとは、かつて6年間一緒に仕事をしてきたことがある。若い時からお互いを知っているため気心が知れているそうだ。

以前、岸田さんにインタビューさせていただいた時(Libra | on 創刊準備1号または創刊号参照)、「図書館変わったね」と言われるように、何かひとつみせたいとおっしゃっていた。

ぜひ、お二人で協力して新しい風を吹かせ、多くの市民を巻き込みながら「これからの図書館」を作っていっていただきたいと思う。



4月11日（土）301～303会議室において、りぶらサポータークラブのプロジェクト紹介が行われました。

約50名の方々が集まり、今年度実施されるプロジェクトの紹介が行われた後、4つのグループに分かれて参加者からの質問に答えたり、自分はどれに参加したいか、その中でどんな事をやっていきたいかなどを話し合いました。

参加者の皆さんからは、「楽しかった」「活発に意見が交わって良かった」「Libraが市民の居場所となるあたたかい場づくりができるよう、りぶらサポータークラブの活動に期待する」などの感想が聞かれました。



今年度は、5つの柱で以下のプロジェクト実施が計画されています。

交流

- りぶらまつり
- りぶらフォーラムⅢ
- りぶらフォーラムⅣ

広く一般市民の皆さんがLibraに集い、イベントなどを通してお互いに交流できるようキッカケを作っていきたいと思えます。

研究

Libraがより使いやすく魅力ある施設になるよう、また市民活動団体やボランティア活動をされたい市民の方達がお互いにつながっていくように実践しながら考えていきます。

- 岡崎図書館未来企画
- デジタル映像活用
- りぶら生涯学習市民セミナー
- ボランティアシステム
- 施設活用状況と利用者行動
- つながろう“いのち”
- ノベルティグッズ企画

広報

- ホームページ作成
- 広報誌発行
- 情報コンビニラック

よりLibraが皆さんに親しんでもらえるよう、インターネット・紙媒体などで、皆さんに情報を発信していきます。Libraでのイベント情報やりぶらサポータークラブの活動をお知らせしていきます。

施設活用

Libraがより皆さんに活用されるように、既に実施されているプロジェクトです。

- りぶらっこ☆ふぁみりー
- りぶらぶらりマップ
- 岡崎むかし語りの会
- 庭で遊ぼう
- ひざ掛けづくり

活動育成

- 調べ学習講座
- シネマ・ド・りぶら
- 詩と音楽の午後

このような講座や活動がLibraで繰り広げられるといいな、というアイデアを基に、実際にLibraで活動が展開されるよう実験的に実施していきます。

りぶらホールでの映画上映や、図書館を活かした施設利用の提案、地元の詩人やミュージシャンの紹介など。

随時、お手伝いの方など募集しております。ぜひ皆さん、お気軽にご参加ください。

内田修ジャズコレクション展示室

内田修ジャズコレクション展示室では、常時72枚分のジャズレコード音源が試聴できます。7月7日(火)までは、著名なジャズ専門レコード会社「ブルーノート」を特集しています。「ブルーノート」は、1939年にニューヨークで設立され、なかでも「1500番・4000番台」の番号がつけられた一連のアルバムは、ジャズになじみのないかたでも、どこかで見かけたことのあるジャケットが多数あるほどの名盤揃いです。難しそうと敬遠されがちなジャズですが、ロックもヒップホップもまだなかった時代の若者のポピュラー音楽です。この機会にゆっくり聴いてみませんか？新しい世界が開けるかもしれませんよ。



りぶら国際交流センター(LICC)

<LICCはLibra International Community Centerの略称です>



LICCでは外国人市民向けの各種セミナー、言語スタッフによる市民生活に必要な多言語情報の提供、及び生活相談の実施を行っています。また、外国人市民との交流及び国際理解を推進するために、日本人市民を対象にした各種セミナー、講座等を開催しています。

尚、ボランティアによる各種イベントのチラシも置いてありますので、是非お気軽にお立ち寄りください。

各言語スタッフの勤務日 9:00～17:00 (水曜日休館)

月曜日	英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語
火曜日	英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語
木曜日	英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語
金曜日	英語、ポルトガル語、中国語
土曜日	英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語
日曜日	英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語

infomathon @your libra

聴く、読む、 観る、話す、 楽しむ、伝える

私の一冊 vol.1 「世に棲む日日」 司馬遼太郎 文藝春秋社

市民活動総合支援センター受付 田中皇子(たなかきよこ)



心に残る1冊で、私を一番最初に長州蟲屑にさせてくれた、司馬先生の『世に棲む日日』をお薦めします！

前半は、私事を嫌い、公に尽くした思想家の吉田松陰先生。こんなに純粋な素晴らしい人がいたと思うと驚きます!! 後半は、革命家の高杉晋作。彼は長州人なのに、粋で役者のような生き方をし、節の意志を受け継ぎます。

幕末というと、薩摩や土佐・会津などがメインの話が多く、長州藩や松下村塾生たちの話はあまりないように思います。維新の原動力、そして今日の日本ができるに当たって、長州藩がどれだけ影響を与えたか。そして今年には、吉田松陰先生が亡くなられて150年を迎えます。

山口県では教育委員会の奨励で、4月から授業で吉田松陰先生の学習が始まるそうです。是非この機会に、読んで知っていただきたいと思います。



Libra館長窓口で受付をしています。受付室ご利用いただいた方に、気持ちよくご利用していただけるように、日々努力しています。おかしな洋服っぽいものが好きだったので、最近はお腹がマイブームです。

りぶら イベントカレンダー

5月9日(土)

■りぶらの草取り交流会

- 10:30～ ●活動コーナー集合 ●参加自由
- りぶら周辺の雑草の草取りボランティアをした後、ボランティア間の交流を行います。

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)
- 内田修ジャズコレクション展示室ドクターズ・スタジオ

5月10日(日)

■林家たい平独演会

- 13:30～開場/14:00～開演 ●ホール ●2000円

5月12日(火)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

5月14日(木)

■ひざ掛け作り

- 10:00～ ●活動コーナー ●参加自由
- 編み物初心者でも大丈夫です。おしゃべりしにきませんか。■

■読み聞かせ

- 11:00～11:30/16:00～16:30
- 子ども図書室 ●参加自由・無料

5月16日(土)

■総合料理教室

- 10:00～12:00 ●調理室 ●3000円

■読書会たからじま

- 10:00～12:00 ●102A会議室 ●参加自由・無料

■手作り絵本 金のりんご

- 14:00～17:00 ●102A会議室 ●参加自由・無料

■読み聞かせ

- 14:30～15:00 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)
- 内田修ジャズコレクション展示室ドクターズ・スタジオ

5月17日(日)

■子供のクッキング

- 10:00～12:30 ●調理室 ●1200円(要参加申込)

5月19日(火)

■親子で遊ぶリトミック

- 10:30～11:30 ●303会議室 ●500円(先着順)
- 0歳～3歳までのお子様と保護者15組程度

■読み聞かせ

- 11:00～11:30 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

5月21日(木)

■男の料理教室

- 10:00～12:30 ●調理室 ●1470円(要参加申込)

■調べ学習講座

- 14:00～16:00 ●活動コーナー ●参加自由・無料

■読み聞かせ

- 11:00～11:30/16:00～16:30
- 子ども図書室 ●参加自由・無料

5月23日(土)

■読み聞かせ

- 14:30～15:00 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)
- 内田修ジャズコレクション展示室ドクターズ・スタジオ

5月24日(日)

■親子ワクワク食べ物教室

- 9:30～12:00 ●調理室 ●500円(要参加申込)
- 小中学生と保護者(子どものみの参加可)
- 花見団子をつくります

5月26日(火)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

5月28日(木)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30/16:00～16:30
- 子ども図書室 ●参加自由・無料

■むかし語り・紙芝居

- 16:30～ ●むかし館 ●参加自由・無料

5月30日(土)

■読み聞かせ

- 14:30～15:00 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

■中川幾郎氏講演会「協働の先にあるもの」

- 14:30～ ●301～303会議室 ●参加無料

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)
- 内田修ジャズコレクション展示室ドクターズ・スタジオ

6月1日(月)

■上半期ホール抽選会

- 9:30～ ●103会議室

6月2日(火)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

6月4日(木)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30/16:00～16:30
- 子ども図書室 ●参加自由・無料

6月6日(土)

■読み聞かせ

- 14:30～15:00 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)
- 内田修ジャズコレクション展示室ドクターズ・スタジオ

6月7日(日)

■ゲームで楽しむキッズイングリッシュ

- 10:00～11:00 (小学1年～小学3年)
- 13:00～14:00 (小4年～小学6年)
- 500円(要参加申込)

6月9日(火)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

6月11日(木)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30/16:00～16:30
- 子ども図書室 ●参加自由・無料

■ひざ掛け作り

- 10:00～ ●活動コーナー ●参加自由

●編み物初心者でも大丈夫です。おしゃべりしにきませんか。6

6月12日(金)

■子どもの本研究会

- 10:00～12:00 ●101会議室 ●参加自由・無料

6月13日(土)

■読み聞かせ

- 14:30～15:00 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

■みちのくポンガーズ&内田桂子 爆笑ライブ

- 17:30～開場/18:00開演 ●ホール ●2000円

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)

6月14日(日)

■みちのくポンガーズ&内田桂子 爆笑ライブ

- 11:30～開場/12:00開演 ●15:30～開場/16:00開演
- ホール ●2000円

6月16日(火)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

6月18日(木)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30/16:00～16:30
- 子ども図書室 ●参加自由・無料

■男の料理教室

- 10:00～12:30 ●調理室 ●1470円(要参加申込)

■調べ学習講座

- 14:00～16:00 ●活動コーナー ●参加自由・無料

6月20日(土)

■総合料理教室

- 10:00～12:00 ●調理室 ●3000円

■読み聞かせ

- 14:30～15:00 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)
- 内田修ジャズコレクション展示室ドクターズ・スタジオ

6月21日(日)

■子供のクッキング

- 10:00～12:30 ●調理室 ●1200円(要参加申込)

6月23日(火)

■イタリア料理教室

- 10:30～ ●調理室 ●3500円

■読み聞かせ

- 11:00～11:30 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

6月25日(木)

■読み聞かせ

- 11:00～11:30/16:00～16:30
- 子ども図書室 ●参加自由・無料

■むかし語り・紙芝居

- 16:30～ ●むかし館 ●参加自由・無料

6月27日(土)

■読み聞かせ

- 14:30～15:00 ●子ども図書室 ●参加自由・無料

■レコードコンサート

- 19:00～20:30 ●参加無料(要参加申込)
- 内田修ジャズコレクション展示室ドクターズ・スタジオ

6月28日(日)

■親子ワクワク食べ物教室

- 9:30～12:00 ●調理室 ●500円(要参加申込)
- 小中学生と保護者(子どものみの参加可)
- チョコクッキーを作ります

7月2日(木)

■調べ学習講座

- 14:00～16:00 ●活動コーナー ●参加自由・無料

りぶら
Libra

ちよっとしたはなし

Libraに関係あるような無いような
どうでもいいんだけど
知っているともちょっと面白い

②

皆さん、梅まつりは楽しみましたか？お花見の時期は、駐車場が常に満車状態でしたわ。今年も美しい梅を愛でることができました。

岡崎公園から伊賀川沿いに歩いてくることができ、街中でも豊かな自然を感じることもできるのが、Libraの自慢のひとつです。

伊賀川に面した出入り口近くでは、樹木に鳥の夏箱がかけられており、シジュウカラが営巣する様子を見ることができるとかも。これ

らの夏箱は、愛産大小杉研の学生さん達の協力を得てりぶらサポータークラブが昨年11月に創作室で行った子ども向けワークショップで作られたものです。

シジコ西広場ではササゴイを、乙川では水鳥を見ることが出来ます。6月になると岡崎公園ではヒメボタルが飛んでいます。Libraに乗った時には、ぜひ街中の自然観察もしてみてください。

「りぶらサポータークラブ」のご案内

この広報誌「Libra | on」はりぶらサポータークラブによって作られています。

りぶらサポータークラブとは…

- Libraのサポーターの集まりです。
- 市民とLibraが協働して作り上げていきます。
- Libraがより活用されるよう考え、行動します。
- Libraでの利用者の活動をサポートします。
- 市民の生涯学習を応援します。

図書館が好きな方、何かボランティアをしてみたい方、岡崎のまちが好きな方、文化や国際交流の発展を願う方など、いろいろな人が集まっています。

りぶらサポータークラブを通じて、Libraをより身近に感じながら、より魅力ある場に一緒にしていきませんか？

21年度総会と講演会

5月30日(土) @301~303会議室

13:30~ りぶらサポータークラブ
平成21年度総会

14:30~ 講演会:中川幾郎氏
「協働の先にあるもの」



講演会は、参加費無料となっております。会員ではない方も、ぜひご自由にご参加ください。当日、りぶらサポータークラブへの新規入会や継続の更新も受け付けております。

会員募集

この会の趣旨に賛同し、お力添えをいただける方は、ぜひご入会ください。また、会の目的を達成するために、賛助・協力してくださる方々のお力が必要です。何卒、私たちの趣旨をご理解いただき、絶大なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

- (1) 個人会員：年会費2,000円
- (2) 団体会員：年会費2,000円
- (3) 賛助会員：1口1,000円(何口でも、随時)

年会費の期限は4月1日から翌年の3月31日とし、賛助会費は随時受け付けます。年度途中の入会における年会費については、9月末日以降の入会をもって半額とし、納入された会費は返却しないものとします。

年会費は名簿の作成、通信費などの会の運営費として使用し、賛助会費は会の運営費を補うほか、事業実施などの経費として使用します。